中央小だより
ザウルス通信
第２号　令和８年　４月２８日
発行責任者　神山直樹

ザウルスキッズの合言葉

「考える」…　しっかり「考える」本気ザウルス
「やりぬく」…　とことん「やりぬく」根気ザウルス
「助け合う」…　心から「助け合う」勇気ザウルス

さわやかな春の自然を感じながら～冒険活動教室～

新年度がスタートしたばかりの先週２１日（火）～２３日（木）に，５年生がうつのみや平成の森へ，２泊３日の「冒険活動教室」に出かけました。

第１日目

入所式後，はじめに「園内写真オリエンテーリング」に挑戦！とても広いセンター内をグループごとに巡り，建物の位置や通り道などを確かめました。

午後は「篠井発見ラリー」。絵地図を参考に，グループのみんなで協力しながら，春のさわやかな風が吹く中，自然豊かな篠井地区を探索しました。





夕食＆入浴後には，ロッジテラスで「スターウォッチング」。友達との宿泊に，嬉しさいっぱいの子供たちでした。

第２日目

午前中の活動は「イニシアティブゲーム」。３mの壁登りなどの難題を解決するために，班のみんなでアイディアを出し合い，力を合わせて見事にクリアしました。





午後は「基地づくりキャンプ」。センターの先生方からのアドバイスを基に，丸太やロープ，木の枝などを使って，オリジナルの秘密基地を作りました。

第３日目

「野外おやつ作り」では，火おこし，粉を練ったり生地を焼いたりする作業などを手際よく進め，とてもおいしいフォカッチャができあがりました。





５年生に進級したばかり，そして初めての宿泊学習でしたが，この３日間，活動や宿泊のルールなどを意識しながら，責任をもって行動する姿がたくさん見られました。この冒険活動教室を通して得たことを，今後の生活で生かし，広げてほしいと思います。

交通指導員さん　いつもありがとうございます！

４月１５日（水）の朝，日頃お世話になっている交通指導員さんが来校され，児童との顔合わせとともに，ご挨拶をいただきました。

雨の日も風の日も，また大雪の日も，いつも本校児童が安全に登校できるよう，温かく見守ってくださっている７名の交通指導員の皆様に心より感謝申し上げます。

今年度も，本校児童の安全確保のためにお力添えくださいますよう，どうぞよろしくお願いいたします。



＜７名の交通指導員の皆様＞

今泉　知明さん（ＮＨＫ前）	髙山　　弘さん（平成通り）	
蟹沢　昌宏さん（郵便局交差点）	阿部　照史さん（中河原）	土橋　正靖さん（旭中前）
田村　和久さん（菅原神社前）	折原　敏夫さん（学校東下）	

子供たちの学びの「伴走者」に

「個別最適な学び」と「協働的な学び」。耳にされたことはございますか？

「個別最適な学び」とは，子供が自分の特性や興味・関心に応じて，自ら学習を進めることです。併せて，一人だけの孤独な学びにならないよう，友達と話し合い，助け合って問題を解決することが「協働的な学び」です。今，日本全国の学校において，この「個別最適な学び」と「協働的な学び」が進められていますが，

これを確実に具現化するためには，次の２点が必要不可欠であると考えます。

ア　教師と子供たちが，**日常的に対話**し，何気ない会話やおしゃべり，様々な関わりを重ねながら**信頼関係**を築くこと

イ　子供は「問いのかたまり」という認識に立ち，一人一人の**可能性を信じて待つ**こと

昭和から平成の前半にかけての，いわゆる知識偏重，詰め込み型の学習＝知識を持つ者が持たない者に教えるという「垂直的」な教育観から，一人一人が問いを立て，考え協力して学び合う「水平的」な教育観への転換が今求められています。

まずは，私たち教員が「自身が最大の教育環境である」との自覚をもち，子供たちの学びの伴走者となれるよう，これからも学校全体で，授業研究や指導方法の工夫改善等に努めていきたいと思います。